

朝晩の涼しさや、コオロギやスズムシの鳴き声に、秋の訪れを感じるようになってきました。飛んでいるトンボや落ちている木の实を見て、子どもたちなりに季節の変化を感じているようです。

これからは戸外で体を動かすことが心地よい季節です。走ったり跳ったり、様々な運動遊びを楽しむことを通して、友達と一緒にの楽しさも感じられるようにしていきたいと思います。

お月見

9月10日は十五夜でした。子どもたちは、少し前から『つき』の歌を歌ったり、「お月様からうさぎが落ちてきた」という内容の絵本をきっかけにうさぎの人形を作ったりしてきました。顔を描き、手足をのりで貼ってうさぎができあがると、(絵本の話から)壁にある月に返してあげようとしたり、自分の遊びの場に連れて行ってあげたりし、うさぎと一緒に遊ぶことを楽しんでいました。

8日には、4歳児の団子作りを見学しました。ほし組さんにじ組さんが丸めた団子や、鍋の中に団子を入れる様子を見ると、その後の遊びの中で、はな組も早速お団子作りを始めました。京花紙を丸めて団子にし、鍋でゆでて、皿に盛り付けて、お団子パーティ。見て「面白い」と思ったことを、遊びとして楽しみながら自分たちで実現していくはな組の子どもたちです。遊びを楽しみながら、日本の伝統的な行事に関心をもつきっかけにもなってほしいと思っています。



地域散策

先日、5歳児と手をつないで地域散策に出掛けました。団地の公園の前を通ると「ここでいつも遊んでいるよ」とうれしそうに話し、慣れ親しんでいる地域を歩く経験ができました。5歳児が優しく手をつなぎ、道路を歩くことの見本になってリードしてくれました。

広場や園庭では、一緒に体操やかけっこをしました。かけっこでは、はじめに5歳児に走り方を見せてもらい、その後ははな組の子どもたちも元気いっぱい走りました。優しくてかっこいい5歳児のお兄さん、お姉さんに親しみの気持ちをもつ姿が見られます。

来月は、4歳児と手をつないで神谷堀公園まで遠足に行く予定です。日頃の登降園時などから、道路を歩くときに安全な歩道の歩き方や横断歩道の渡り方、歩道橋の階段の昇り降りなどを、おうちの方と一緒に経験しておけるといいですね。また、神谷堀公園のトイレは和式トイレがほとんどです。洋式トイレは数が少なく、大きいものなので、和式トイレも使えるとよいと思います。園でも和式トイレの使い方を少しずつ知らせていきますが、登降園時におうちの方と一緒に園の和式トイレを使う経験もしてみてください。



ドキドキしながらも、5歳児がリードしてくれて、楽しくお散歩に行きました



なかよし広場で一緒に体操♪

個人面談より

先日は、個人面談をさせていただき、ありがとうございました。保護者の方からのお話で、多く聞かれたものを紹介させていただきます。

子どもの着替えがなかなか進まずに困っています

食事に時間がかかって困っています



保護者の方も悩んでいらっしゃると思いますが、まずはお子さん自身が「困った」と感じる必要がありますね。例えば、「時間になったらパジャマのまま行く（→恥ずかしい）」「食事の時間を決めて、途中で終わりにする（→お腹がすく）」など、必要なことをしないとうなるかをお子さんが実感し、そうすることが必要だと感じることが大切だと考えています。お子さん自身が「困った」と感じることで、「自分でしよう」「今度はこうしよう」という思いにつながるようにしたいですね。

今おさえない生活習慣

～“した方がよい” “すると心地よい” “こうするとしやすい”
と感じながら、身の回りのことに自分で取り組もうとする～

入園してから5ヶ月経ち、様々な面で成長が感じられます。特に身の回りのことについては、入園当初、みんなである場面で「嫌だ」という思いを表す姿が多くありましたが、園生活に慣れ、必要なことが分かってくると、自分から取り組むことが増えました。一方、早く終えたい気持ちから手洗いを適当に済ませたり、片付けをせずに違う遊びを始めたり…まだまだ課題はあります。

こども園では、様々なことについて「約束だからしよう」ではなく、「なぜそうするのか」という理由が分かり、幼児自身で「こうするとしやすいな」「こうすると心地よいな」と感じて取り組めるようにしています。そこで、9月は以下のめあてにしました。具体的な内容についてお伝えします。

<園日より9月号で示した指導のめあてより>

★片付けたり食事の約束を守ったりすると気持ちよいく感じ、できることは自分でしようとする。

片付け…「(決まった場所に片付けたことで)使いたいものがいつもの場所にあると使いやすいな」「片付くと心地がよいな」などの気持ちを感じながら、自分から取り組む。

食事の約束を守る…「食具と反対の手で皿を押さえると食べやすいな」「椅子とテーブルを近付けるとこぼれなくて心地いいな」などと感じ、自分からしようとする。

片付け、食事だけでなく、着替え、手洗いなど身の回りのこと一つ一つに、幼児自身が「すると気持ちがいいな」「生活しやすいな」と必要感を感じることで、自分から取り組む意欲や生活する力を身に付けることにつながります。生活習慣は経験の積み重ねで身に付いていきます。ご家庭でもぜひ、身の回りのことを「した方がよいな」と感じられるように関わってみてください。

お願い



園内では、4，5歳児を中心に運動会に向けた取り組みが始まっていますが、こども園では、“運動会をしよう”といきなり保育者が持ち掛け、練習が始まるわけではありません。各学年によって、子どもたちへの担任の投げ掛けは異なります。

ホワイトボードでお伝えしていますが、はな組では、まだ“運動会”という話をしていません。子どもたちが伸び伸びと体を動かし楽しんでいる姿を大切にしています。“自分たちがしているのが楽しい！”という気持ちを十分に味わい、それを“おうちの人にも見せたい”という思いにつながってほしいな…と思っています。なので、ご家庭でお子さんに“運動会”というワードをまだ出さないでください。学級の中で、子どもたちの“やりたい”という声が出たときに“運動会”の話をしようと思っています。そのときには、学級の掲示板等でお知らせします。ご協力をお願いいたします。

